

平成 26 年度  
(2014 年度)

## 標準化活動報告書

抜粋版

抜粋版

平成 27 年 5 月

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会  
(JBMIA)  
標準化センター

(第 2 版)

## はじめに

標準化センターで取りまとめを行った、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（以下、JB Mia）の標準化活動に関する「平成 26 年度（2014 年度）標準化活動報告書」を発行いたします。

昨平成 26 年度は、平成 25 年度の JB Mia 協会改革の検討結果を反映した JB Mia の新組織体制が発足し、新たな視点での活動が開始されました。標準化センターでは、従来からの各プロジェクト活動体制を維持すると共に、前年度に引き続き全般的な活動の見直しを実施いたしました。具体的には、標準化会議を中心に、以前から活動しているアクセシビリティ・UI デザイン・カラーマネージメントの各標準化プロジェクトの活動推進、JBMS（協会標準）の維持管理活動の中で効率化施策を反映した運営を行うと共に、会員各社の事業活動に対する支援として今後取り組むべき新規標準化テーマについて、具体的なテーマ候補案の検討、テーマ候補創出の仕組みの検討、等を実施いたしました。併せて、JB Mia として関連する JIS 原案作成活動を推進してまいりました。

本報告書をご高覧いただき、JB Mia 及び標準化センターでの標準化活動に対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

標準化センター センター長  
中澤 俊彦

■ 目次 ■

1	標準化活動概況	4
1.1	標準化センター	4
1.2	JIS 原案作成委員会	6
2	標準化センター	7
2.1	標準化センター関係委員一覧	7
2.2	標準化センター幹事会	12
2.3	JBMS 推進専門委員会	13
2.4	ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP)	15
2.5	アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ)	18
2.6	カラーマネジメント・プロジェクト (CMP)	20
3	JIS 原案作成委員会	21
4	部会及び委員会の標準化活動	23
4.1	プリンター・複合機部会	23
4.2	カード及びカードシステム部会	28
4.3	データプロジェクター部会	29
4.4	技術委員会	30
4.5.1	TC106 関連 WG	30
4.5	環境委員会	31
4.5.1	環境配慮小委員会／騒音規格検討 WG	31
4.5.2	化成品専門委員会／エミッション評価法検討 WG	31
5	各委員会・部会の次年度標準化活動予定	32
	附属書 A JBMS/JIS 制定・改正実績表	36
	附属書 B 2013 年度 JBMS 5 年見直し結果	41

## 1 標準化活動概況

### 1.1 標準化センター

標準化センター所属の各プロジェクト及び専門委員会での、平成 26 年度の活動成果概要を次に示す。

#### (1) 幹事会の主な活動

- ・ 新規標準化テーマ候補として 2 案を検討したが、両テーマ候補ともに JBMIA で標準化活動を行うメリットが見い出せないとの意見が多く、新規標準化テーマの活動提案には至らなかった。
- ・ 新規標準化テーマを抽出するに当たって具体的な議論をする前に、まず活動テーマ抽出のプロセスの明確化が必要であるとの結論に達し、次年度中を目標にプロセス作りを行うことを決定した。
- ・ 協会改革の一環である工数削減の標準化センター施策として、幹事会では開催回数を年 4 回に減少し昨年度より活動したが、調査・議論の効率が悪かったため、11 月以降、開催時間を短縮した上で標準化会議開催月を除く毎月開催に戻した。

#### (2) JBMS 推進小委員会の主な活動

- ・ 平成 26 年度の 5 年定期見直しを、JBMS 2 件、JBMIA-TR 3 件を対象として実施し、結果を反映して Web で公開した。
- ・ JBMS 1 件（附属書の英語版）、JBMIA-TR 6 件の制定原案のエディット作業を実施した。この内、JBMS 1 件（日本語版の付属資料として発行）及び JBMIA-TR 6 件の計 7 件を発行した。
- ・ エディット作業の効率化促進を目的に「JIS・JBMS 用語自動チェックツール」の改訂を実施した。
- ・ JBMS 及び JBMIA-TR のグローバル化対応推進策として、ダウンロードサイト等関連サイトの和文・英文併記化を図った。

#### (3) ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP) の主な活動

- ・ ステアリングチームで、各社複合機に共通した GUI 構成要素（操作作法、アイコン、用語等）の調査を実施、作成した比較一覧表を JBMIA-TR として制定・発行した。また、タッチジェスチャー用語に関して調査を実施し比較一覧表を作成した。
- ・ ユーザーインターフェイス用語ワーキンググループ（UI 用語 WG）では、UI 用語の標準化をテーマにプロセス改善や新規の標準化候補用語の選定を行った
- ・ ビジュアルランゲージワーキンググループ（VLWG）では、標準化する図記号候補の第三者評価として各社の有識者（VLWG 前任者及びグラフィック関係者）へのヒアリングを実施。候補図記号 1 点については見直しの必要性ありと判断し、来年度以降に再検討する。JBMS で規格化する図記号は全 10 点で決定した。
- ・ 6 月に開催された JBMIA 成果報告会 2014 で、UI 用語 WG 及び VLWG より活動紹介と成果報告を行った。

#### (4) アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ) に関する主な活動

- ・ ISO/IEC 10779(事務機器のアクセシビリティガイドライン)改定活動に関連して、
  - ISO/IEC 10779 の改定提案をするためには、欧州のアクセシビリティ公共調達基準と米国リハビリテーション法 508 条基準改定版とのハーモナイゼーションが必要であるとの基本的な考え方が 2012 年の ISO/IEC JTC 1/SC 28 (事務機器分野) ロンドン総会で示された。
  - 2014 年 2 月に EU 指令 Mandate 376 に基づき欧州のアクセシビリティ公共調達基準である EN 301 549 が制定された。スケジュールが大きく遅れた米国リハビリテーション法 508 条基準改定は 2015 年 2 月 28 日に NPRM (立法案公告) が公開されパブリックコメント募集が公告された。現在、内容を分析中である。
  - 又、EU 指令 M 376 で発行された EN 301 549 の ISO 化の検討が始められていることを初めて確認し注視が必要である。
- ・ オフィス機器に影響がありそうな JIS 改定・新規制定活動の外部活動情報を入手すると共に、関連する活動に参加又は詳細情報の入手に努めている。必要に応じて ACPJ でコメントをまとめる活動を推進している。
- ・ JBMS-71 (報知音) の見直し活動として、標準化している報知音 (特に弱注意音) の改定案の具体的な検討を開始した。
- ・ JBMIA 成果発表会 2014 (6 月) にて、「ISO/IEC 10779 (高齢者及び障害者のためのオフィス機器の使いやすさの指針) を取り巻く各国のアクセシビリティ標準の動向」を紹介した。

#### (5) カラーマネジメント・プロジェクト (CMP) の主な活動

- ・ カラープリンターが一般に普及し、ユーザーの色再現に対する要求が厳しくなっている。その為、一般オフィスにおけるビジネス文書について、ディスプレイとプリントの色との観察環境、オフィスプリンター色空間、色域マッピングアルゴリズム、オフィスプリンター固有の課題 (様々な用紙や色材を前提としたカラーマネジメント) 等を取り上げ、その現状把握や技術レポート又は規格化の検討を行っている。
- ・ ISO/IEC JTC 1/SC 28 国内委員会への活動状況報告と課題対応、IEC/TC 100 (オーディオ・ビデオ・マルチメディア) 国内委員会からの課題検討要請への対応を行っている。また、ISO、IEC、CIE、ICC などの各国内外関連団体におけるカラーマネジメント関連の活動について、情報収集や意見提案などを行っている。
- ・ 種々のデジタルプリントに幅広く適用できる画像保存性の国際規格策定活動が進捗しており、画像保存性 WG では写真感光材料工業会 [ISO/TC 42 (写真分野) 国内審議団体] との連携を図ると共に、国際会議 (ISO/TC 42/WG 5/TG 2&3) にも代表を送り、JBMIA で集約した意見を規格に反映させる活動を継続実施している。

## 1.2 JIS 原案作成委員会

JBMA が原案作成団体として活動した主な JIS 制定・改正活動は次の通りである。

- JIS 原案改正活動を 3 規格について実施し、内 2 件は発行された。残り 1 件は、経済産業省ウェブページで改正原案を公開し意見受付公告中である。
- 平成 26 年度の JIS 5 年定期見直しとして、9 規格の精査を関係者協力の下で行い、対応国際規格等の状況から何れも「確認 (= 現状維持)」となった。来年度に改正原案作成予定が 3 件ある。
- 平成 27 年度 JIS 作成公募制度に、「区分 A」活動として 2 件、「区分 B」活動として 1 件の応募を行った。 (参考：区分 A、B は活動期間を示す。)

以上